

テンサイシストセンチュウの発生に警戒を！

2025年6月

諏訪郡原村、南佐久郡川上村、南牧村の一部地域のアブラナ属作物で、「テンサイシストセンチュウ」の発生が確認され、発生地域では、このセンチュウに対する緊急防除とまん延防止対策の取組が進められています。未発生の産地においては、疑わしい症状が見られた場合は、病害虫防除部へご連絡ください。

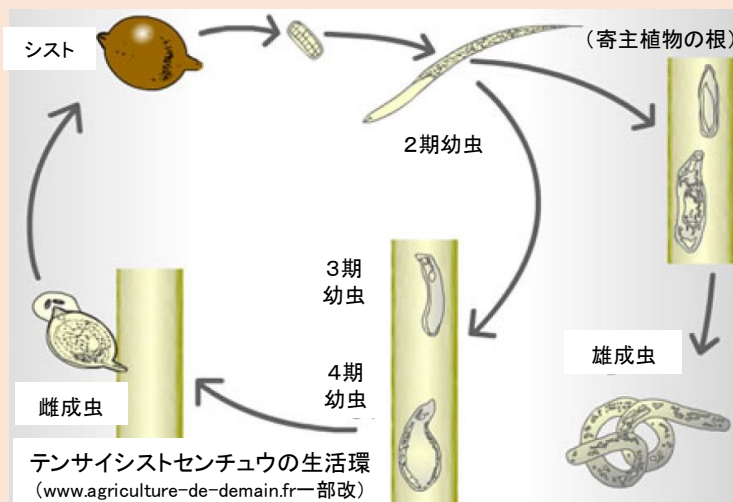
■テンサイシストセンチュウとは

【形態・生態】

- ・雌成虫の体長は0.6～0.9mm。
発育し、肥大化するとレモン型になり、その後、卵を内包した褐色のシストとなる。
- ・雄成虫、幼虫(2期)は糸状。

☑注意!!

シストは土壤中で長期間生存し、
土壌とともに移動する。



【寄主植物(センチュウが寄生する植物)】

- ・アブラナ属植物: はくさい、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、
チンゲンサイ、かぶ、のざわな 等の生植物の地下部
- ・ほうれんそう、トマト、ルバーブ、食用ビート 等の生植物の地下部

【寄生された植物への影響】

- ・センチュウの寄生により、植物体の養水分の吸収阻害が起こる。
- ・その結果、植物体では地上部の萎れや黄化症状、生育遅延、地下部では細根(ひげ根)が異常に増える。

このセンチュウは植物の地下部に寄生するもので、

- ・ヒトや動物に寄生することはありません。
- ・葉や茎などの地上部には寄生しません。
- ・万一、センチュウが付着した農産物を食しても、ヒトの健康を害することはありません。

●疑わしい地上部の症状は？

○ 寄主植物の地上部に次の症状がみられる場合は、根こぶ病などとの複合症状の可能性もありますが、テンサイシストセンチュウの寄生が疑われます。

- ・生育遅延
- ・生育不良（外葉や結球の小型化など）
- ・黄化症状
- ・萎れ



図1 キャベツの発生事例



図2 ハクサイの発生事例

●確認する方法は？

○ 根を掘り上げ、地下部に次の症状などがみられる場合は、テンサイシストセンチュウの疑いがありますので、病害虫防除部へご連絡をお願いします。

- ・細根（ひげ根）の異常な増加（図3）
- ・根に乳白色、レモン型の雌成虫（大きさ0.6～0.9mm）、褐色のシスト※が寄生（図4）

※雌成虫が変化したもので、寄主植物の根がなくても土壤中で長期間生存可能

注) 抜き取った株や土壌は絶対に、ほ場外に持ち出さないでください。



図3 被害根（異常に増加した細根）



図4 根に寄生した雌成虫（左）とシスト（右）

【問い合わせ先】

長野県病害虫防除部（本所）
（中南信班）

tel: 026-248-6471
tel: 0263-53-5642

e-mail: bojo@pref.nagano.lg.jp
e-mail: bojo-y@pref.nagano.lg.jp

もしくは最寄りの農業農村支援センター技術経営普及課へ